

経営発達支援計画

H29年度 伴走型小規模事業者支援推進事業

# 地域経済動向調査レポート

～京丹後市版～

(平成29年4月～6月期調査)

京丹後市商工会

## ～売上額や採算に改善が見られるも、原材料高騰が続き、依然弱い動きが続く市内産業～

### ＜調査概要＞

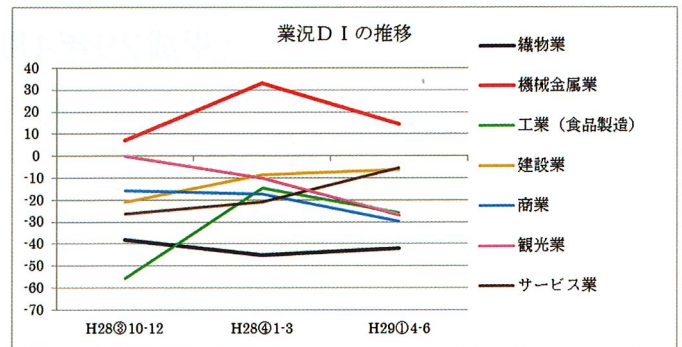
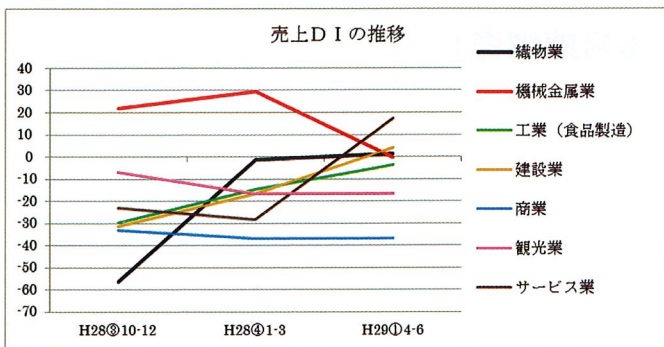
調査対象：地域内の小規模事業者等105件

調査期間：2017年4月～6月

調査方法：当商工会経営支援員による巡回ヒアリングによる調査票への選択記入式

### ＜産業全体＞ …売上額や採算に改善が見られるも、原材料高騰が続き、依然弱い動きが続く市内産業

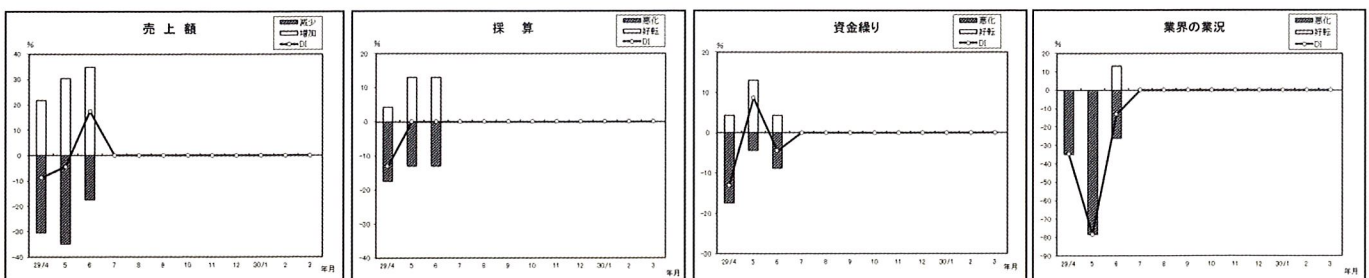
4月～6月の小規模企業景気動向調査は、前期(H29.1～3月)と比較して、売上DIと採算DIの項目(平均値)において改善が見られた。中でもサービス業は両項目共に、20ポイント以上の大きな改善を示した。他にも織物業、工業、建設業に緩やかな改善傾向が見られるが、全業種に共通して景況感は乏しく、依然弱い動きが続いている。経営支援員からは、業種間による格差が広がりつつも、復調傾向の報告も増えてきている。



※上記グラフは、前々四半期、前四半期の該当DIの平均値を算出しグラフ化したもの

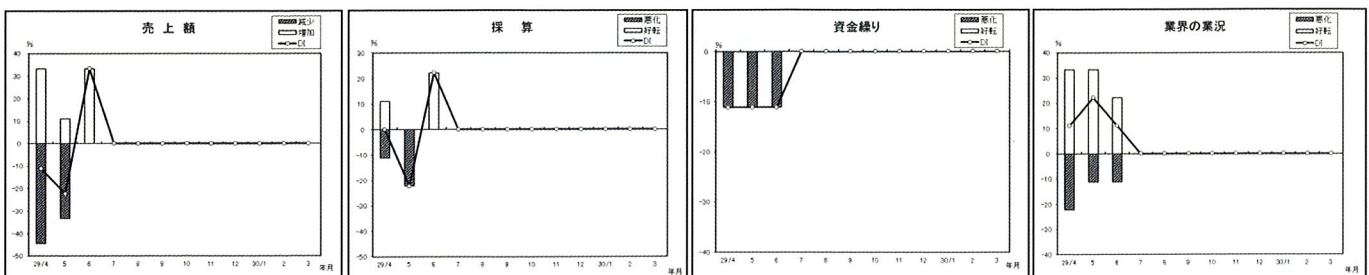
### 織物業 一部の事業者で仕事量・売上が増加傾向になるも織手不足、高齢化が顕著化する織物業

織物業の売上DI、採算DIは改善傾向が続き、業況DIは一時落ち込むも改善傾向となった。前四半期(平均値)との比較でも全ての項目においてわずかに改善した。経営支援員からは、受注量は微減若しくは安定してきていることに加え、生産体制強化の動きにより売上、採算は好転したが、出機織手の高齢化が顕著化してきており、織手不足が深刻化するという報告があった。



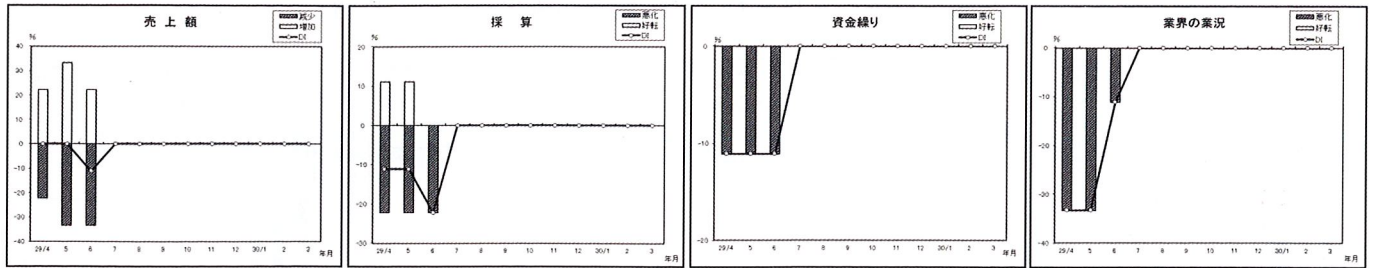
### 機械金属業 受注量は横ばいも原材料高と人手不足により利益が圧迫される機械金属業

機械金属業の売上DI、採算DIは6月に入り大幅な改善を示したが、前四半期(平均値)と比べると、全ての項目において悪化した。経営支援員からは、半導体関連の仕事や、海外での動向が好調である一方、人手不足と原料高が続いているため、利益を圧迫しているとの報告があった。また、6月の業況DIは悪化を示すも、前向きなコメントが多く見られた。一部の事業者では設備投資も活発化してきており、明るい兆しも見える。



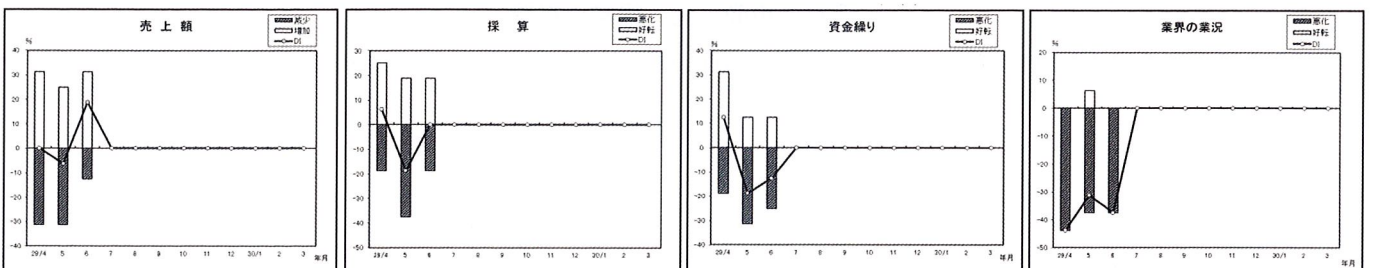
## 工業(食品製造) わずかな改善も、原材料高騰の長期化により厳しい状態が続く工業(食品製造)

工業(食品製造)の業況D Iは、6月に入り大幅に改善。他の項目の売上D I、採算D I共に小幅な悪化を示すが、前四半期(平均値)と比較すると、わずかな改善が見え、資金繰りD Iは横ばいも悪化傾向であった。経営支援員からは、原材料の高騰が続き、利益を圧迫しているとの報告があった。また、消費者の動きは平年並みも、取引先(卸先)の売上減少による影響があるとの報告もあった。



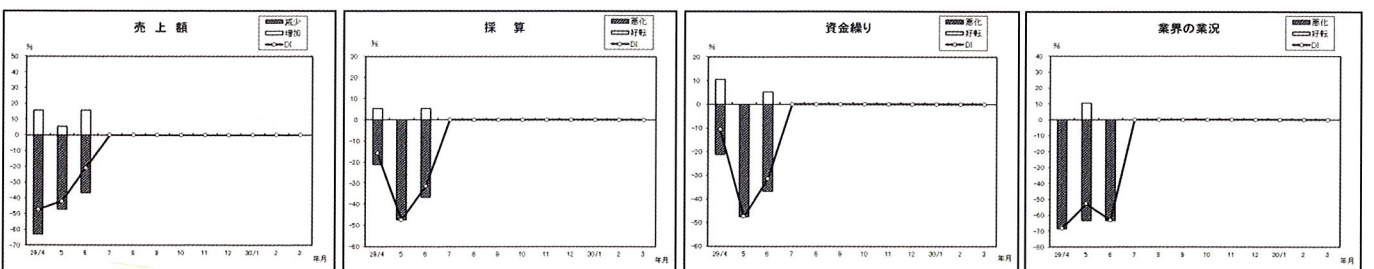
## 建設業 民間工事好調も、原材料高騰の影響と入札結果に左右され、先行き不透明な建設業

建設業の売上D I、採算D I、資金繰りD Iは、6月に一時的に回復し、前四半期(平均値)と比較しても、小幅に改善している。しかし、業況D Iは、依然悪化傾向を示し、低い水準を推移している。経営支援員からは、一部の事業者者に公共工事に代わり民間工事が好調との声もあるが、原材料高騰の影響により冷え込みが続き、厳しい状況が続いているとの報告があった。好材料として、次四半期において公共工事が動き出す気配とのコメントもあった。



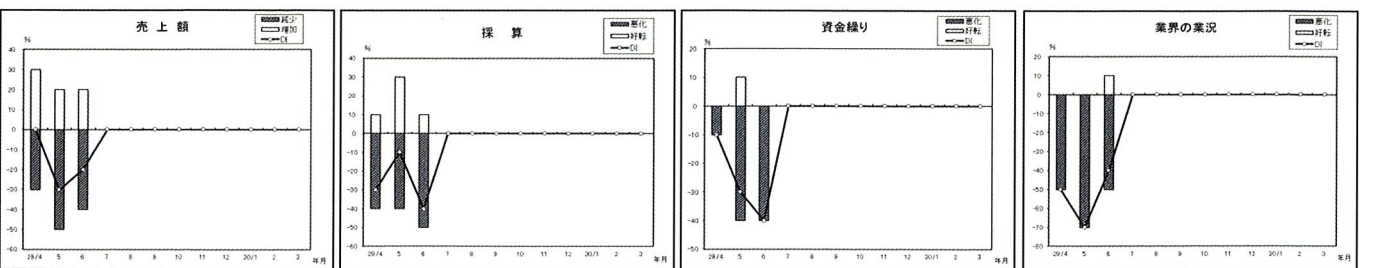
## 商業 大型小売店やチェーン店の競争激化で苦戦が続き、業界全体の回復の兆し見えない小売業

商業の業況D Iは、5月にわずかに改善するも、6月に悪化に転じ、市内7業種の中で最も低い水準を推移している。売上D Iは4月から小幅な改善傾向であるが、前四半期(平均値)と比較すると不変であった。経営支援員からは、一部の事業者では季節要因や大型連休、高速道路の開通の恩恵を受け、一時的に売上額が増加するも、全体的に大型店やチェーン店との競争で苦戦が続き、深刻さが深まるとの報告があった。加えて後ろ向きコメントが多く、仕入価格の上昇を販売単価に価格転嫁ができず利益幅が縮小し、厳しい状況が続いている。



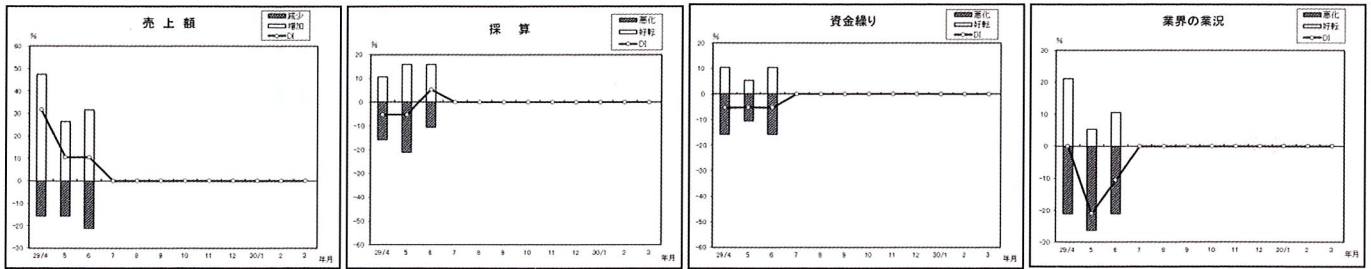
## 観光業 積極的な誘客戦略より高まりが感じられるも改善ペースが緩やかな宿泊業

観光業の業況D Iは、5月に落ち込んだが6月に入り一転改善した。売上D Iも同じ動きを示したが前四半期(平均値)との比較では、売上D Iは不変、業況D Iは▲30.0ポイント悪化した。採算D I、特に資金繰りD Iについても悪化傾向で、燃料費等の高騰による影響が出ていると推測する。経営支援員からは、誘客PR戦略を計画的に行って、観光客、合宿誘致等に繋げているところは安定した売上を確保しているとの報告があった。また、高速道路開通等の恩恵から当市への観光客入込客数は増加しており、各宿の対策等に加えモチベーションの維持が今後の明暗を分ける。



## サービス業(飲食店) 前四半期から一転改善示すも原材料高騰により収益悪化が懸念されるサービス業

サービス業の業況DIは、5月に落ち込むも、6月に改善し、前四半期(平均値)との比較でも42.1ポイントと大きく改善した。売上DI、採算DI、資金繰りDIは、月別の推移は、ほぼ不変であるが、前四半期(平均値)と比較すると、何れも20ポイント以上の改善を示した。経営支援員からは、一部地域の事業者は、高速道路開通による大型連休等の恩恵を受けている一方で、仕入価格の上昇により収益悪化が懸念されるとの報告があった。他にも飲食関連の開業といった新しい動きも見られ、今後、競争が激化していく見通し。



京丹後市商工会 経営支援課

〒627-0012 京都府京丹後市峰山町杉谷836-1 TEL:0772-62-0342 FAX:0772-62-3553 担当:田中勝茂